

# 暮らし塾 きんゆう塾



巻頭特集 暮らし再発見

## 挑戦するって楽しい

そこが知りたい! 暮らしの金融知識

**家計の見直し4つのポイント** 藤川 太

金融教育の現場レポート

**買い物体験学習等を通じた金融教育** 東京都中央区立阪本小学校

連載 江戸の暮らしと金銭観

**江戸時代の通貨と物価の変動** 竹内 誠

知るぼると最前線

『金融教育プログラム』を携えて全国行脚

知るぼると

# [巻頭特集] くらし再発見



挑戦するって  
楽しい

巻頭特集では、  
多忙な生活の中でふと忘れがちだけれど  
大切なことをテーマとした、  
「くらし再発見」シリーズをお届けします。  
創刊号では「挑戦」をテーマに、  
新しい自分、新しい世界へ挑戦することの  
「楽しさ」を追ってみました。

ロボットコンテストに挑戦する学生チーム、フラダンス教室の経営に挑戦する女性、姫路城の模型作りに挑戦する男性、女性初のエベレスト登頂を果たした田部井さんなどが登場。



## 目次

3 ■巻頭特集 くらし再発見  
挑戦するって楽しい  
「得られるのは、前を向いて歩んでいる実感」



10 ■連載 江戸のくらしと金銭観 一第1回—  
江戸時代の通貨と物価の変動  
「三つの異なる貨幣を使い分けた江戸庶民」  
江戸東京博物館館長 竹内 誠



13 ■そこが知りたい! くらしの金融知識  
家計の見直し4つのポイント  
「家計も小さな会社と同じです」  
家計の見直し相談センター・ファイナンシャルプランナー 藤川 太

18 ■将来へのまなざし  
「お客様に喜んでもらえるのが何よりも嬉しい」  
しながわ水族館 水族館飼育員 上田 陸



20 ■知るぼと最前線  
『金融教育プログラム』を携えて全国行脚

24 ■金融教育の現場レポート  
買い物体験学習等を通じた金融教育  
東京都中央区立阪本小学校



28 ■趣味の散歩道～生活いきいき～  
俳句  
「生活の中で感じたままを表現しています」  
俳人 河内 静魚

30 ■知るぼとラウンジ  
都道府県金融広報委員会の活動紹介  
金融広報アドバイザー紹介

33 ■金融広報だより  
「金融に関する消費者教育フォーラム」の開催

34 ■会長寄稿「創刊によせて」  
皆様の声をお寄せください  
編集後記

35 ■知るぼとミュージアム  
ポスターが語る昭和のくらし

表紙イラスト・題字 矢田 勝美



# 「挑戦する」という言葉には何かしらワクワク感がある。

日々のくらしが穏やかで満足していれば、特に変化を求めず、今のままであってほしい、と人は考えるのではないのでしょうか。まして今のくらしを変えて何かに挑戦するって、「たいへんそうだな」と思う人は多いでしょう。でも「挑戦する」という言葉には、何かしらワクワク、ドキドキする感じが溢れています。

挑戦する人といえは、新記録を目指すアスリート、宇宙のなぞに迫る科学者、企業の経営者……。しかし挑戦する人は、そういう特別な人々だけではありません。私たちの身近にも、「これをやってみよう!」と念発起する人がたくさんいます。

身近なくらしの中にある挑戦。これからご紹介する人たちの「身近な挑戦」から、私たちは何か大切なことを学べるかもしれません。



から「このロボットは止めよう」と言われる始末。松本さん、ファイトを掻き立て、「いや後二百だけ待ってください」と大学に泊り込みました。そして、ぎりぎりの段階でロボットがいきなり動き出しました。「その瞬間、やったあと叫んだほど。機械に命を吹き込んだ経験は忘れられません」今年、大学ロボコンでは、ロボット同士が通信して情報交換するなど、新しい技術に挑戦しています。「先輩たちが残してくれたものがあるから、新しいことに挑戦できる。僕らも何か上乗せして大学を去りたい」再びの優勝を目指して、松本さんたちの挑戦は続きます。

## レポート・身近な挑戦者たち



優勝を目指して新しいロボットづくりに挑戦!

### はじめはロボットの解体から

東京農工大学三年生の松本拓巳<sup>たくみ</sup>さんはロボット研究会会長。中学時代からロボットに関心を持っていて、大学入学後、さっそく同研究会に入会しました。初めは先輩が作ったロボットを解体し、どんな機構で動くのか、その仕組みから勉強しました。

### 登山もプロセスが楽しい

田部井 淳子



私の登山初体験は小学四年のときで、茶臼岳という山に登りました。この山は火山のため草木が生えない裸の山で、緑に囲まれた私の故郷の山とは大きく異なっていました。また、見るもの、触れるもの初めてのものばかりで、教科書や黒板からは学べない、日常とは別の世界があるという事実に、素直に感動したものです。大人になり、各国の山に登るようになりましたが、その原動力は、当時から変わらず持ち続けている別世界への憧れ、好奇心だったと思います。

確かに、山に登ることは、苦勞の連続です。高度が上がると一歩、一歩の歩みさえ苦しく、どうしてこんな苦勞をしなければならぬのかとの思いが横切ることもあります。

しかし、山頂からの美しい風景を目にしたとき、やっぱり登ってよかったと体全体で感じるのです。こればかりは、実際に登った人でないと、分からないと思います。また、ふもとの地域の風物、文化、人々との交流を通じて、地球の大きさ、広さに

最初の挑戦は一年生の六月、知能ロボット大会への出場でした。

「ロボットづくりに初めて挑戦したとき、ついに、テレビのロボコンで見ていた人たちの仲間入りしたという感動を忘れられませんでした。見たこともなかった工作機械に囲まれ、新鮮な体験の毎日で、ワクワク感がいっぱいでした」

その一年後である二〇〇六年、東京農工大学は大学生が日ごろの勉強の成果でもある手づくりロボットの性能を競う大会「大学ロボコン」で優勝しました。同大会のロボット研究会が発足して十三年目、初めて念願の優勝の栄冠を手にしたのです。

### 動き出したロボットに快哉

優勝の後、東京農工大チームは、国際大会に出場しました。世界の檜舞台です。チームはやる気満々。戦力増強でロボットを一台追加しようということになり、松本さんがプログラムを担当。ところが試走する段階で動かないのです。いくらプログラムを調整しても動かない。とうとう先輩



### 挑戦について語る①

改めて驚き、別の地域にも行きたい、別の山にも登りたいと思うようになるのです。登山というと、山に登る行為ばかりが注目されますが、実際、それは全体の一部ではないというのも事実です。事前の準備など、人の目に触れないことも重要です。実のところ、山に登るため、成田空港を出発するときには、すでに登山の八〇％は終わっているといっているでしょう。

私がエベレストに登ったのは、一九七五年のことでしたが、ネパール政府に申請書を出してから、四年以上が経過していました。その間、協力者や資金集めに奔走しました。また、当時、多くの人から不可能な試みとレッテルを貼られたものでしたが、チームの仲間と、どうしたら不可能を可能にできるか、準備・計画に力を尽くしました。成功の影には、そんな努力がありました。

私は何よりもこのような努力、プロセスを重視しています。プロセスこそを楽しむことが重要だと思うのです。今、私は環境問題に取り組んでいます。この息の長い取り組みが必要です。プロセスを一つひとつ経ながら、地道に活動を続けていきたいです。(談)

●たべいじゅんこ●登山家。一九三九年生まれ。一九七五年世界最高峰エベレストに女性世界初の登頂に成功。一九九二年女性で世界初の七大陸最高峰登頂者。著書に『山を楽しむ』など多数。







## 心の支えにもなる稽古事

知り合い七、八名を自宅に呼んでスタートしましたが、徐々に入門者が増えていきました。入門者が増えると、手伝いといえ大内さんの仕事も増えます。会社では総合職。仕事との両立は大変だったといえます。結婚後もそれは続きました。「会社の仕事が忙しい時でも、いずれは母の跡を継ぐ」という意識がありましたから、土・日は欠かさずお稽古。出産後も一ヶ月しか休みませんでした。子どもが一歳半を過ぎてから本格的に復帰しました」

教室の生徒(弟子)が二百名を超えた今、高齢者の仲間入りをした母親のことを考えると、大内さんも早く母のレベルに達する必要性を痛感しています。

「女性にとつて、お稽古は単なる楽しみというだけではなく自分への投資であり、一つの挑戦だと思えますね。やがてはこの道でも自立できるようにという目標があれば、人生が少々つらく思えるような時にも、『私にはもう一つ生きる道がある』という心の支えにもなります。フラは私にとつて、心のサプリメントでもあるんです」

語り終えると、いそいそと稽古の支度を始める大内さんでした。



定年過ぎて能面打ちへ。挑戦して知ったその奥深さ。

## 出来映えに心が躍る

佐伯佳道さん(六三歳)の父親は裁判官、弁護士として活躍した法律家ですが、傍ら能楽師でもありました。兄弟が謡や狂言、笛や鼓を学ぶ中で、幼い佐伯さんはサボり続けてきました。

「三年前、定年を迎えたときに、かつての『能楽家族』のはしくれとして能面打ちに挑戦しようと決めました」

しかし独学はムリ。自宅から二時間半もかかる町の教室に入門しました。

初めに作ったのは小面(若い女性の能面)。型紙に沿ってのこぎりで顔の輪郭を作り、のみで角をそぎ、かまぼこ型に。次に先生の作品と写真を見ながら彫刻刀で荒削りに鼻口、目を作る。さらに型紙に合わせて、丸のみ



## 誰もが果敢に挑戦する社会に

中野 不二男



もう二十年前になりましたが、私が尊敬する方が、ある研究所の所長を退所するときに講演で話した言葉を今でも覚えています。

「研究所は安定したらおしまいだ」

自分は研究所を去るが、研究者たちは、安定志向、現状維持を戒め、常に新しいことに挑戦してほしい。そうでなければ、研究所の発展はないという思いが込められた言葉でした。

取材者として聞いていた私は深い感動を覚えました。今思い返しても、科学技術研究の本質を突いた名言だと思います。私は仕事柄、これまでさまざまな研究機関などを回り、研究者たちの挑戦する姿勢に圧倒されてきましたが、そのような姿勢こそが、日本の科学技術を支えているのだと、痛感しています。

挑戦の大事さは、科学技術に限定される話ではありません。あらゆる分野で誰もが果敢に挑戦する社会になればと思います。

もちろん、挑戦には、失敗のリスクが伴

## 挑戦について語る②

います。失敗が怖いという理由から、挑戦できない人もいます。しかし、逆説的な言い方ですが、成功者は過去に何度も失敗しているものです。失敗しても挑戦し続ける人が成功をつかむ。失敗が怖く、紹介した言葉どおり、「安定」や現状維持で満足していたら、成功をつかめない。これが真実だと思います。

実は、私自身も、五十歳を過ぎてからある大きな挑戦をしました。ジャーナリストとしてだけではなく、より深く科学技術、航空宇宙の分野を研究したいと、博士論文の執筆を試み、五年半かけて、学位を取得したのです。実際、日々の仕事をこなしながらの研究・執筆だったため、大きな苦勞がありました。挑戦の成果を得て、大きな自信を得ました。

当然ですが、挑戦者たちは皆、挑戦すべき独自のテーマを持っています。これをやりたい。こうしたいという強い意志があります。他人と競争するわけではなく、誰に指示されるわけではなく、自らを律し、計画を立案し、目標に向かって突き進む。挑戦の面白さもそこにあるのだと思います。(談)

●なかのふじお ●ノンフィクション作家。一九五〇年生まれ。「カウラの突撃ラップ」「レーザー・メスー神の指先」「科学技術はなぜ失敗するのか」など、科学技術を中心に執筆活動を展開。

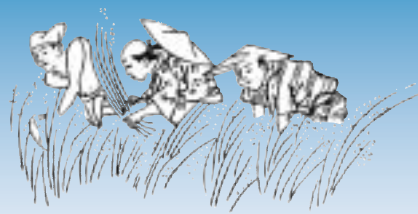
## 挑戦。それは、前を向いて歩んでいくだけ。

若者から定年を迎えた人まで、年齢も職業も、挑戦の形もさまざまです。

しかし例外なく言えるのは、挑戦することが生活の張り合いであり、生きがいに通じているということです。壁に突き当たつたらじつくりと考えればいいし、失敗したらやり直せばいい。そこで得られるのは、間違いなく前に向かって歩んでいる実感です。

挑戦するテーマを持つことは、人々の生活を豊かにするものといつてよいでしょう。生活の中での挑戦。それは特別な難しいことではなく、プロセスを楽しみながら少しずつ前に向かって歩むことから始められるのです。

私たちも何か、これはというテーマに挑戦してみませんか。



# 江戸時代の通貨と

## 物価の変動

江戸東京博物館館長  
竹内 誠

二世紀半にもわたる「天下泰平」を民衆が謳歌した江戸時代は、くらしや文化、経済が目覚ましく発展した時代でもありました。このコーナーでは、現在に通じる「市場経済」が確立したこの頃の人々のくらしと金銭観を、4回にわたり紹介します。

### 三つの異なる貨幣を上手に使い分けた江戸の人々

ちよつと想像してみてください。私たちがのお財布の中に「円」「ドル」「ユーロ」がすべて入っているとしたら……。モノを買うときに主に使うのは「円」、そのためには手持ちの「ドル」や「ユーロ」を「円」に両替しなければならず、しかもその相場が毎日変動するとしたら……。

実は江戸時代はまさにそのような状況でした。金貨、銀貨、銭(銅貨)の三種の通貨が全国に流通し、庶民も、日常的に両替をしながら暮らしていたのです。

金貨は一両(小判一枚)⇨一分金四枚  
⇨一朱金十六枚の四進法。銀貨は枚数ではなく重さの匁もんめで表し、不定形な丁銀・豆板銀がありました。江戸初期の金銀銭の公定交換比率は、金一両⇨銀五十匁

したが、日常生活に使う銭は、宋や明から輸入されたものでした。国内で流通したのは、中国から運ばれてきた宋銭や明銭だったので。

三代將軍家光の時代、寛永十三年(一六三六年)になって、いよいよ「寛永通寶」の鑄造が始まります。流通の主役となる銭を、自前で発行するようになったのです。これこそ、真の意味での貨幣経済の始まりを意味します。東アジア流通圏からの自立という、経済の一大転機でもありました。

「寛永通寶」は幕末までその名称を受け継ぎます。寛永から二百年以上もあとの安政年間に鑄造されたものも、慶応年間に鑄造されたものもすべて、その表面の文字は「寛永通寶」です。

### 江戸は「現金」 関西は「現銀」

よく知られているように、関東では主に金、関西では銀が流通の主役でした。これは佐渡や伊豆、甲州などの金山が関東に多く、生野、石見など銀山は関西に多かったことが主な理由です。

今に残る「現金」という言葉も、関西で

⇨銭(銅貨四貫文(四千枚)でした。

しかし五代將軍綱吉の元禄の頃から、幕府が貨幣の質を落としたこともあって銀貨の価値が下落。元禄十三年(一七〇〇年)以降の公定交換比率は、金一兩⇨銀六十匁に、文化文政の頃には銭の価格が下落し、金一兩⇨銭六貫文ぐらい、さらにはおよそ七貫文へと変化しました。この相場は地域や日によつて異なっていたので、より有利な条件で両替するための情報収集が不可欠でした。今考えるとなんと面倒なシステムですが、江戸時代の庶民は、それを当たり前のこととしてこなしていたのです。

### 宋や明からの輸入銭から自前の「寛永通寶」へ

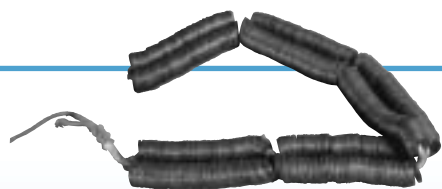
中世以降、貨幣は徐々に人々の間に浸透して売買に使われるようになっていきました。大ヒットした越後屋のキャッチフレーズ「現金掛け値なし」は、関西では「現銀掛け値なし」というわけでした。

ちなみにその頃は、「節季払い(年二回)」「晦日払い(月一回)」のようにツケで買つて、後からまとめて払うのが主流。支払うときの「掛け値」には、本来の商品の値段に利息のような割り増し料金が加算されました。そこで買うときには「ちよつと負けてえな」という値引き交渉があたりまえになり、大坂の人々はそれを楽しんでさえいました。

しかし江戸は武士が多かったためか、値引きの交渉などという、潔くない行為はなかなか気風にあわず、商人の言いなりでした。現金でその場で支払う代わりに、正札どおり、それ以上の掛け値はないという越後屋の商売のやり方が大歓迎されたのは、そんな江戸市民の心理にぴったりとはいえなかったからでしょう。

### 米価の下落に 苦慮し続けた江戸幕府

幕府や藩は、年貢を主に米で徴収します。財政の基本は米。地方の藩も江戸か



銭さし(一貫文)  
※銅貨一枚



慶長小判

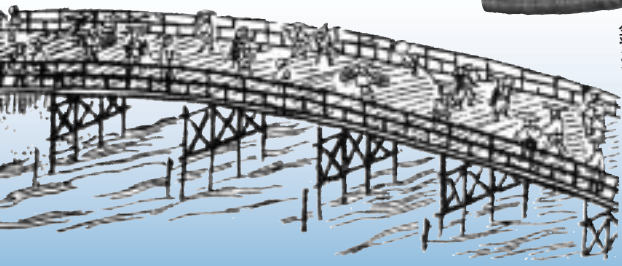
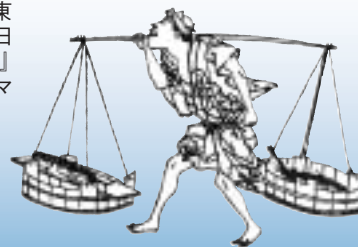


慶長一分金



文政一朱金

●竹内 誠(たけうち まこと)  
昭和8年(1933)東京生まれ。東京教育大学大学院博士課程修了。文学博士。専攻は江戸文化史・近世都市史。信州大学教授、徳川林政史研究所主任研究員、東京学芸大学教授などを経て、現在東京学芸大学名誉教授。東京都江戸東京博物館館長、徳川林政史研究所所長、日本博物館協会会長なども務めている。著書は「江戸と大坂」「徳川幕府と巨大都市江戸」など多数。NHK大河ドラマなどの時代考証も担当している。





このコーナーでは、  
くらしに身近な金融知識やその役立つ方について、  
有識者からわかりやすくアドバイスして頂きます。  
今回は、「家計の見直し相談センター」の  
藤川さんに登場して頂きました。

# 家計の見直し 4つのポイント

家計の見直し相談センター ●ふじかわ ふとし ●ファイナンシャルプランナー。日々、相談業務、全国各地での講演や新聞・雑誌・書籍への執筆を行う。著書に『生命保険料は半額になる!』『サラリーマンは2度破産する』など。  
藤川 太

Aさんのプロフィール

Aさん	40歳	会社員
妻	40歳	専業主婦
長男	11歳	小学校5年生
長女	8歳	小学校2年生
年収	700万円	
貯蓄	600万円	
住居	賃貸マンション 家賃月12万円(駐車場代含む)	
教育プラン	小学校までは公立、中学校からは私立に入りたい。	
基本生活費	月22万円、その他生活費年60万円、 保険料月2万円	

## あなたの家計にも 危機が訪れる?

マイホームを購入したい、子どもを中学から私学に入りたい、などなどさまざまな夢を語ってくれたAさん。ところが、「まだ世の中は厳しいし、家計的にこれらを実現できるかどうか自信がありません」と不安な様子。Aさんは家計の方向性を検討するために、ご相談に来られました。

Aさんはある大手メーカーに勤めるサラリーマン。年収は平均よりもやや高めです。いまの会社で働き続けられれば、六十歳で一旦退職となりますが、その後六十五歳までは継続雇用で働くことができます。退職金は、千五百万円程度もあそびそうです。

長男も小学校高学年になり、ついに「自分の部屋が欲しい」といい始めたようです。私立中学を目指して猛勉強中というところもあり、静かな個室を与えてあげたいところ。これまでは住宅購入についての勉強すらしておらず、あわててモデルルームの見学や、頭金の積立を始めました。

近隣のマンション相場は七〇平米台のファミリーマンションタイプで、三千〜四千万円が相場。頭金は少ないものの、営業員からは「住宅ローンの審査は大丈夫」と太鼓判を押してもらったようです。

ごく普通のサラリーマンのAさん。教育費は普通より高くなりそうですが、他は特に贅沢をしているようには見えません。

ところが、Aさんの家計の将来をシミュレーションしてみると、このままではAさんの家計はあつという間に金融資産残高がマイナスとなり、借金ができなければ破産



寛永通寶(銅一文銭)

大坂のどちらかに年貢米を運び、そこで換金します。そうしないと藩の財政が成り立たないのです。そこで問題になってくるのが米の値段です。

単純に考えれば、財政が苦しくなったら、年貢米を今までよりもたくさん徴収できれば、手持ちの米は増えて、財政も潤うはず。ところがそう簡単にはいきません。米の量が増えれば価格が下がり、たくさん売っても入ってくるお金は逆に減ってしまいます。

米を換金しなければ生活に必要な物資を買うことも、人を雇うこともできないのに、米以外の物資の値段は高くなるばかり。結果的に財政難は解消されないのです。

そこで幕府は、財政の根本となる米価を一定の基準(金一両〓米一石)で維持しようと、あの手この手の対策を打ち続けます。例を挙げましょう。市場に出回る米の量が少なくなれば、米の価格は上がります。まず米を大量に使用する酒造業者に、普段よりもたくさん酒を造るよう、強制的に命じました。市場に出る米を減らすもう一つの方法は買占め。しかし幕府自身には買占めを行うだけの資

金がありませんから、代わりに米を大量に扱う米穀業者や、お金に余裕のある豪商に米を買占めさせて米の値段を吊り上げる。これが買米令です。

しかしやがてこうした方策も行き詰まります。そうするとまた新たな工夫を重ねる。江戸時代の二世紀半、特に後半は、幕府は飢饉の時期を除いて、米の値段を「適正な価格まで上げる」ことに追われていた感があります。

江戸時代は「米遣い経済」であるといく言われますが、時代と共にその内容は少しずつ変化しました。九代将軍家重の頃から、米だけに頼る経済からの脱却も試みられます。老中田沼意次は、商人に特権を与えてその代わりに冥加金を徴収。重農主義から重商主義をも加味した方向へと政策転換しました。

田沼失脚の後に寛政の改革を行った松平定信は、入ってきたお金をただそのまま使ってしまうのではなく、一部を運用する公金貸付政策を導入します。財政金融政策、これはまさに、金融の論理の実践。このように江戸時代は、現在に通じる経済システムが確立した時期でもあったのです。(談)



慶長豆板銀

※掲載写真(貨幣)は日本銀行貨幣博物館提供



慶長丁銀

昔のように収入が右肩上がりに増えない時代なので、十年後、二十年後といった将来を睨んで家計を運営することが重要です。こうした長期的な家計の計画を「ライフプラン」といい、会社で言う「長期経営計画」のようなものです。家計も小さな会社と同じですが、ライフプランを立てている人は少ないのです。家計の経営が上手く行かないのは当たり前なのかもしれません。

お金に苦労しない家計は、今の家計しか考えていない家計が多いものです。たとえば、家を買うとき、家賃と毎月の貯金を考えて住宅ローンはいくらまで払えるかを決めます。一方で、お金に苦労しない家計は、子どもが大学に行く時期には、これだけお金がかかるだろうから、無理をせず住宅ローンはこのくらいにしておく、と考える傾向があります。

**ポイント1 夫婦で将来をしっかりと考えている**

お金に苦労する家計は、今の家計しか考えていない家計が多いものです。たとえば、家を買うとき、家賃と毎月の貯金を考えて住宅ローンはいくらまで払えるかを決めます。一方で、お金に苦労しない家計は、子どもが大学に行く時期には、これだけお金がかかるだろうから、無理をせず住宅ローンはこのくらいにしておく、と考える傾向があります。

**ポイント2 必要なお金は先にとっておく**

お金の貯まらない多くの家計では、口座に給料が振り込まれ、生活費を使い、お金があまれば貯金、という管理をしています。これではなかなか貯金はできません。大きな買い物でローンを組み、ローンの返済でさらに貯金ができなくなる。家計が悪循環に陥りやすくなります。

**ポイント3 固定費から削減する**

家計が苦しくなると真っ先にターゲットになりやすいのが、食費、衣服費、そしてお父さんのお小遣い。せっかく家族のために一生懸命働いても、お父さんの評価は下

**お金に苦労する家計、苦労しない家計**

お金に苦労しない家計は、いつばい稼ぐ家計でしょうか。これまでの経験から言うと、お金を稼ぐことよりも、お金を管理できることの方がずっと大事です。これまで私が見てきたお金に苦労しない家計の特徴をみてみましょう。

お金に苦労しない家計は、今の家計しか考えていない家計が多いものです。たとえば、家を買うとき、家賃と毎月の貯金を考えて住宅ローンはいくらまで払えるかを決めます。一方で、お金に苦労しない家計は、子どもが大学に行く時期には、これだけお金がかかるだろうから、無理をせず住宅ローンはこのくらいにしておく、と考える傾向があります。

【図表1】Aさん家計のキャッシュフロー表

前年末の金融資産残高 600万円 (単位: 万円)

西暦	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2018年		2019年		2027年		2028年		2033年		2034年	
								51歳	52歳	60歳	61歳	60歳	61歳	2033年	2034年				
年齢	夫 39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	51歳	52歳	60歳	61歳	60歳	61歳	66歳	67歳	66歳	67歳		
	妻 39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	51歳	52歳	60歳	61歳	60歳	61歳	66歳	67歳	66歳	67歳		
	長男 10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	22歳	23歳	31歳	32歳	31歳	32歳	37歳	38歳	37歳	38歳		
	長女 7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	19歳	20歳	28歳	29歳	28歳	29歳	34歳	35歳	34歳	35歳		
家族のイベント	長女小学校入学	住宅購入		長男中学校入学	自動車買換え		長男高校入学	長女大学入学	自動車買換え	夫定年退職	自動車買換え	夫定年退職	自動車買換え						
収入	夫手取給与 2.0%	570	581	593	605	617	629	723	737	782	782	782	782	356	359	356	359		
	退職金 1.0%									2,465		2,465							
	夫婦の年金収入 1.0%																		
	収入合計	570	581	593	605	617	629	723	737	3,247	3,247	3,247	3,247	356	359	356	359		
支出	月々の生活費 1.0%	264	264	267	269	272	275	295	277	278	281	278	281	295	298	295	298		
	その他の生活費 1.0%	60	60	61	61	62	63	67	68	73	74	73	74	78	78	78	78		
	住宅ローン 0.0%	89	89	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152		
	家賃・管理費等 0.0%	144	89	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34		
	生命保険料 (注1) 1.0%	24	24	35	35	35	35	66	66	66	66	66	66	24	24	24	24		
	イベント費用 1.0%		300			155			169										
	教育費 2.0%	58	88	120	174	180	216	251	112	665	750	665	750	583	587	583	587		
	支出合計	550	913	669	725	890	775	865	878	2,583	2,583	2,583	2,583	227	227	227	227		
	収支	20	-332	-76	-121	-273	-145	-142	-140	665	670	665	670	665	670	665	670		
	金融資産残高 1.0%	600	274	201	83	-189	-337	-1,561	-1,717	1,301	843	1,301	843	-818	-1,053				

見直し後プラン

(単位: 万円)

西暦	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2018年	2019年	2027年	2028年	2033年	2034年
収入	夫手取給与 2.0%	570	581	593	605	617	629	723	737	782	782		
	妻パート収入				62	62	63	68	68				
	退職金 1.0%									2,465			
	夫婦の年金収入 1.0%												
	収入合計	570	581	593	667	679	692	791	806	3,247	278	356	359
支出	月々の生活費 1.0%	264	264	267	269	272	275	295	277	278	281	295	298
	その他の生活費 1.0%	60	60	61	61	62	63	67	68	73	74	78	78
	住宅ローン 0.0%		77	132	132	132	132	132	132	132	132	132	132
	家賃・管理費等 0.0%	144	89	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
	生命保険料 (注1) 1.0%	24	23	22	22	22	22	22	22	22	22	11	11
	イベント費用 1.0%		300			155			169				
	教育費 2.0%	58	88	120	87	121	156	251	112	600	727	549	553
	支出合計	550	900	635	605	796	680	800	813	2,648	449	193	194
	収支	20	-319	-42	62	-117	12	-9	-7	665	670	665	670
	金融資産残高 1.0%	600	287	248	312	198	213	309	305	4,178	3,771	2,386	2,216

(注1) 現状プランの保険料は、保険期間が10年の特約で構成される保険商品を想定しています。そのため、10年ごとに保険期間が自動更新され、保険料もそのつど増加しています。見直し後プランの保険料は、更新による保険料の増加のない保険商品を想定しています。  
 (注2) 表中の上昇率は、収入や支出の水準の上昇割合をあらわします。本シミュレーションでは、今後の消費者物価が1%程度で緩やかに上昇していくことを前提にしています。統計的に教育費は消費者物価よりも若干高い上昇率を示しているため、今回は2%の上昇率としています。



がるばかり。これではやる気もなくなってしまう。

こうした費用はすべて「やりくり費」。やりくり費は手っ取り早く節約できますが、生活レベルの低下を実感しやすいお金です。しかも、節約は毎日続けなければならぬので単純につらく、長続きしにくいものです。

やりくり費の節約の前にやるべきことは、家計の固定費を徹底的に見直すこと。家計の固定費とは、家賃、住宅ローン、水道光熱費、通信費、保険料、といった銀行口座から定期的に引き落とされているものと考えると分りやすいでしょう。

こうした費用は日頃ほとんど注目することがないので、ムダが多く見つかるものです。これらのムダをなくしても生活レベルにはほとんど影響ありませんし、一度減らせば効果が長く続きます。見直しが難しく手間がかかるものが多いですが、それだけの価値があるはず。収入が上がるにつれ、気が付かないうちに生活のグレードが上がれば固定費が高くなりがちです。聖域をもうけず徹底的に見直しましょう。

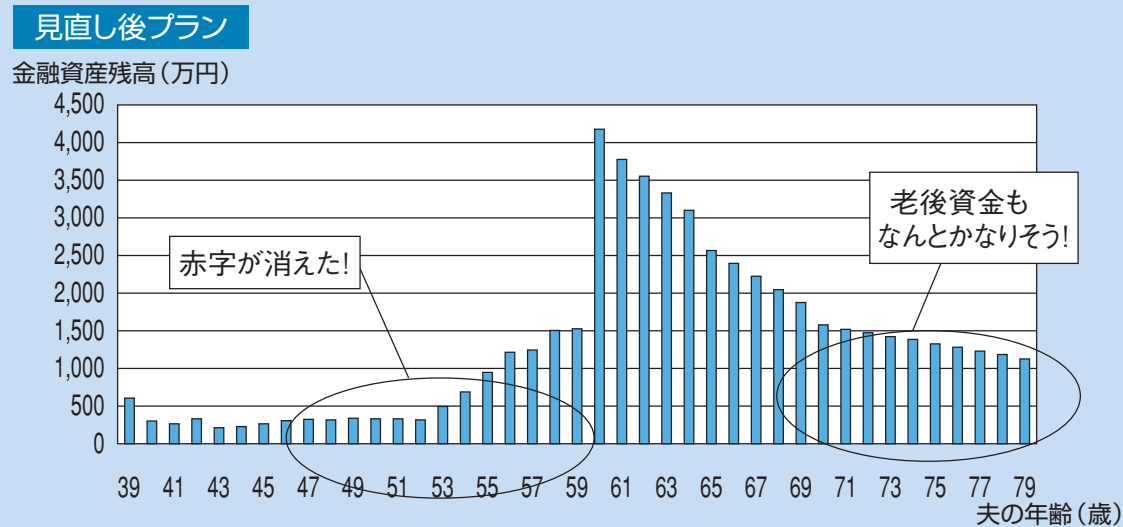
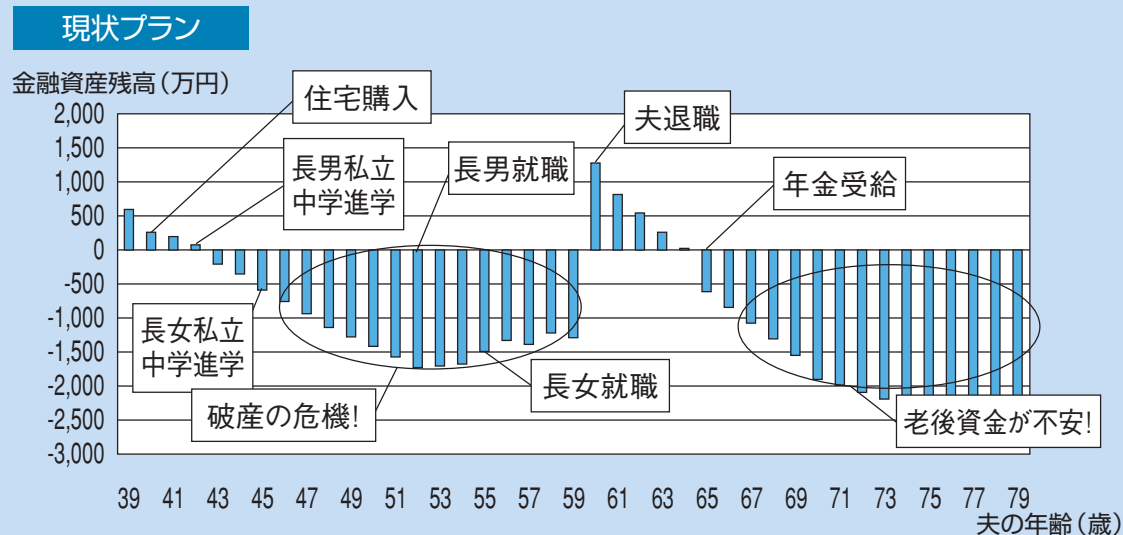
ポイントその4 比較検討をしっかりとできる

固定費を削減するには、無駄なもの解約・売却、必要なものであれば比較検討して安く購入します。ところが、食品やティッシュペーパーを買うときにはチラシを比べてお買い得品を探す人でも、住宅、車や生命保険のように金額が大きなものは比較検討しない傾向があります。こうした金額の大きいものほど面倒ですが、しっかりと比較検討し一割でも安くできれば、数十万円、数百万円という効果が期待できるのです。

## 実際に見直ししてみよう

シミュレーションの結果をみて危機感を覚えたAさん。さっそく家計の抜本的改革に着手することになりました。これまでは奥さんに家計をまかせっきりにしていましたが、Aさんもライフプランを実現するために協力することにしました。Aさんの考えた見直しプランを見てみましょう。【図表1】と【図表2】のそれぞれの下側にある図表が、Aさんの見直しプランのシミュレーション結果です。奥さんは長

【図表2】Aさん家計の金融資産残高グラフ



男が中学校に通い始めたら、パートに出て年六十万円くらい稼いで家計を支えることにしました。これなら、あまり無理なく働けそうです。それとともに、Aさんも家事を分担し協力することにしました。長女が就職するまでの十二年間働くことにしましたので、これだけで七百一十万円の収入アップです。

次に住宅ですが、漠然と都会に住みたいと思っていました。こだわらないことにしました。選択肢として公立校で通わせたい学校がある郊外の物件を探して住むことも検討することになりました。そうすれば住居費も教育費も大幅に安くなります。いろいろと調査してみると、現在検討している物件よりも四百万円安くて、条件のいいマンションが見つかりました。公立に通えば、教育費も大幅に下がります。中学と高校が私立から公立になり、郊外とは言え大学にも自宅から通えそうなので六百五十万円近く教育費が少なくなると見えます。

これら以外にも、生命保険や住宅ローンの選択など、固定費を抑える努力をし、食費などのやりくり費の見直しはしませんでした。それでも、見直し後のシミュレーション結果を見ると、Aさんの見直しプラン

の効果がよく分かります。教育費がかかる時期と老後に発生していた金融資産残高のマイナスがなくなっただけでなく、退職時には残高が四千万円以上にもなり老後資金が潤沢に残る計算となりました。

「こんなにお金が増えるなんて信じられませんが、でも、目の前が明るくなって、がんばる気持ちが出てきました。」と、Aさんは相談前の不安そうな顔がみるみる明るくなりました。

## まとめ

家計の見直しが成功したケースを見ると、決して手軽なウルトラCはないことが分かります。大変な作業だからこそ、Aさんのように夫婦や家族が一丸となって取り組んだケースが多いのです。そのためにも、家族が実現したくなるようなライフプランを作ることがカギとなります。すべてを実現できなくても優先順位をつけて実現を目指してみよう。家族の意識が変われば家計の体質改善も一気に進みます。一日でも早く強い家計作りを着手して未来に備えていきましょう。



うへだ むつみ  
**上田 睦さん** (26歳)  
しながわ水族館  
水族館飼育員

●プロフィール  
【小学校高学年の頃】  
水族館でイルカショーを見ていつか「イルカのおねえさん」になりたい!と心に決める

【中学校】  
小学生の頃から始めた水泳では、全国大会への出場経験もあり

【高校卒業】  
「しながわ水族館」業務課にアルバイトとして採用  
切符の販売やお客様の案内などを担当

【業務課でアルバイト】  
イルカは毎日見ることができているが、部署が違うため触れ合うことはできない憧れはさらに募る  
「子どもの頃からイルカのおねえさんに憧れていたんです…」と、ふだんから何気なく周囲へのアピール

【展示課に異動】  
イルカなどの海獣飼育を担当する展示課に欠員が出る  
欠員補充の形で白羽の矢が立ち業務課アルバイトから展示課アルバイトへと異動

【展示課異動3カ月目】  
憧れの「イルカのおねえさん」になる無我夢中の日々  
異動3カ月目からショーの舞台に

【しながわ水族館に入って8年目の春】  
異動から5年目の今年の春、正式採用に

## 幼い頃から憧れていた「イルカのおねえさん」になるまで

このコーナーでは、プロフェッショナルとして生きていこうと夢を持つ若者に焦点を当てて、その努力の姿を紹介していきます。  
今回は、東京の「しながわ水族館」でイルカのショーなどで活躍する水族館飼育員の上田睦さんを訪ね、お話を伺いました。

### 幼い頃に見たイルカショーに感動

オープン以来十五年目を迎えた「しながわ水族館」。取材に伺った日も、イルカショーの行われるスタンドには遠足の小学生たちも詰めかけ、立ち見も出るほどの大盛況でした。大きなジャンプやスピード感あふれる泳ぎが披露されるたびに、会場は大きな歓声で満たされます。そのステージの中心にいるのが、笑顔の上田睦さん。今年四月に正式採用になったばかりです。

### 毎日欠かさずトレーニング

飼育を始めた当初は、当然、分からないことだらけでした。イルカたちとどう接したらよいのかさえ、戸惑ったといいます。「イルカはそれぞれ性格も違います。信頼関係を築く難しさはもちろんです、体調の観察などについても非常に気を使います」異動して二カ月後には早くも、ショーデビュー、その頃の苦労は?との質問に、「無我夢中、緊張もあつてよく覚えていないんです」という答え。まさに目標に向かって全力疾走の日々だったようです。  
経験を積んだ現在も、連日ショーに備えて、トレーニングを欠かしません。かかげた輪の中をくぐる「フープジャンプ」、弓な



「フープジャンプ」が見事に決まる。息の合ったステージは、日々のトレーニングのたまもの。



エサはサバやシシャモなど4種類。イルカの健康に気をつけてサバは釣り針が残らないように、一つひとつハラワタまで丹念に取り除く。



上田さんは、幼い頃に見たイルカショーに感動して以来「イルカのおねえさん」になりたいと憧れ続けたといいます。  
日本全国には現在約百六十の水族館があり、大勢の飼育員が活躍していますが、特別な資格が必要というわけではありません。動物と触れ合うことができる人気の職種ですが、採用人数の少なさもあつて、実はかなりの「狭き門」。飼育員として正式に採用されるというのは非常に

難しく、上田さんのスタートも、アルバイトからでした。  
「高校卒業後にアルバイトとして入りましたが、このときはチケットの販売やお客様のご案内などが担当だったので、実際にイルカと触れ合うことはできませんでした。毎日身近に見ているだけに、さらに憧れは募りましたね」  
転機は二十一歳の時。飼育に携わる展示課に欠員が出たこともあり、異動が決

りに連続してジャンプする「ボウジャンプ」、ボールにタッチする「ハイジャンプ」、むなびれを使った「握手」など、ショーの種目を繰り返し、繰り返し、訓練します。イルカの集中力を考えて、一回のトレーニング時間は長くないものの、これを時間を空けて複数回行います。さらに、早朝のエサの準備や検温・体重測定、タンクを背負いプール内に潜つての清掃などの地味な力仕事も行います。こうしたことも、イルカとの信頼づくりに大切です。

### もっともっと成長したい

「お客様に喜んでもらえるのが何よりも嬉しい」と目を輝かせる上田さんに、今後の目標を聞いてみました。  
「飼育員としてまだまだなので、もっともつと経験を積んで早く一人前になりたい。ゴールつてないのかもしれないけど、より成長していきたいです」  
毎日が全力疾走。何よりもこの仕事が好き……。そんな彼女の思いが強く伝わる、あふれる熱意がとても印象的でした。

上田睦さんの  
**将来へのまなざし**  
「これまで以上に、イルカと深い信頼関係を築いて、息の合ったショーを、お客様にお見せしたい」



# 『金融教育プログラム』を携えて全国行脚

このコーナーでは、毎回、金融広報中央委員会の最新の取り組みや活動内容を紹介してまいります。今回は、平成十九年二月に正式発行した『金融教育プログラム—社会の中で生きる力を育む授業とは—』を携えて、金融広報中央委員会事務局のメンバーが、全国の教育委員会を訪問し、同プログラムを中心とする金融教育への取り組みへの協力を依頼した模様をご紹介します。

## 全国の教育委員会を訪問

金融広報中央委員会事務局では、本年四月から六月にかけて、各県の金融広報委員会の事務局とともに、県教育委員会および県庁所在市の教育委員会の指導主事等を訪問しました。訪問時には、『金融教育プログラム』の内容とこれを中心とする金融教育への取り組みを説明し、今後の協力を要請しました。

訪問先では、義務教育および高校教育を所管する指導主事等の先生方より、今後、教

員研修等の機会に、『金融教育プログラム』や関連教材等をご紹介頂けるとの力強いお言葉を頂きました。

なお、訪問時には、金融庁および財務局・財務事務所からも一〜二名が同席の上、多重債務防止等への協力を依頼しました。

さらに、金融広報中央委員会では、教育委員会訪問と併せて、金融広報委員会総会（青森、鳥取）や金融広報アドバイザー等協議会（岩手、宮城、北陸三県、愛媛）において、金融教育を巡る取り組みについて紹介しました。

## 『金融教育プログラム』の主な内容 Q&A

### Q1 「金融教育」って何？

A1 金融教育は、お金や金融の様々なはたらきを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育です。

### Q2 金融教育によって子どもにはどんな力がつくの？

A2 「自立するための力」や「社会とかかわる力」をつけて頂けるとお思います。「自立するための力」としては、生計を管理す

るための基礎的な能力や、将来を見通しながら、より豊かな生き方を実現するため、主体的に考え、工夫し、努力する態度が大切です。また、「社会とかかわる力」としては、経済や金融のしくみを理解し、社会と自分との関係を自覚して、社会に貢献しようとする態度を育むことが大切だと考えます。

### Q3 『金融教育プログラム』って具体的にどんなことを学ぶの？

A3 金融教育では、現実の社会の中で生きていくのに必要な金融・経済などの知識やお金を適切に取り扱う態度を身につけることなどを目的としています。

## ご説明した主な内容

教育委員会訪問時には、主に以下の内容を説明ならびにご依頼しました。

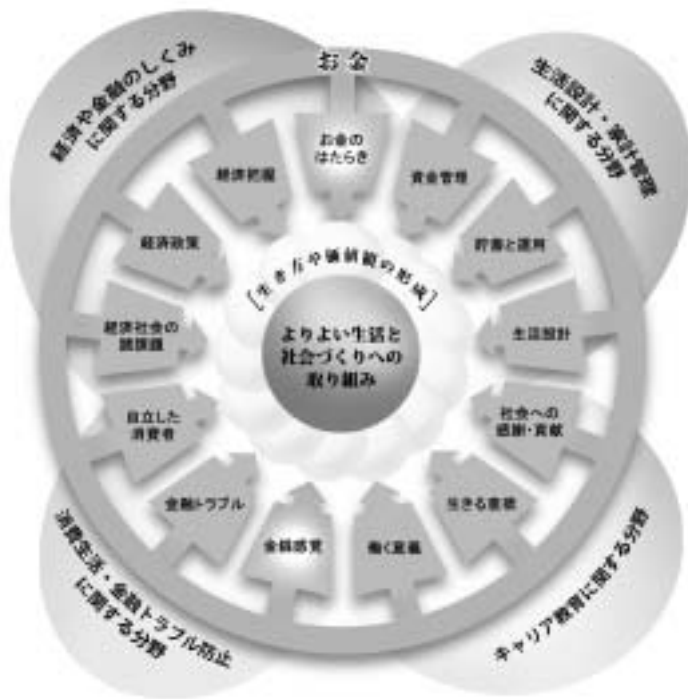
- ①『金融教育プログラム』の背景と作成経緯
  - ・平成十二年金融審議会答申
  - ・平成十四年『金融に関する消費者教育の推進に当たっての指針(2002)』において「金融理解度向上のための年齢層別カリキュラム(素案)」発表

- ・平成十七年『金融教育ガイドブック』発刊
- ・平成十八年春「金融教育プログラム検討委員会」組成
- ②『金融教育プログラム』の内容と関連分野への取り組み
  - ・金融教育の四つの分野
  - ・年齢層別の金融教育の内容
  - ・金融教育と学習指導要領の関係
  - ・学校段階ごとの指導計画例とその特徴
  - ・当委員会および関係団体等の取り組み



**金融教育プログラム**  
『金融教育プログラム—社会の中で生きる力を育む授業とは—』では、学校における金融教育をより効果的に進めるために、現場の先生方および有識者の協力を得て、小学校、中学校、高等学校における金融教育のあり方や関連する教科等の指導計画例を紹介しています。

## 金融教育の目標と4つの分野



金融教育の四つの分野として、「経済や金融のしくみに関する分野」、「生活設計・家計管理に関する分野」、「消費生活・金融トラブル防止に関する分野」、「キャリア教育に関する分野」があります。

### Q4 『金融教育プログラム』って何？

A4 金融教育を学校で取り

上げるにはどうしたらいいかわかりやすく説明したものです。金融教育って何？ 小学校、中学校、高等学校のいるいるな科目でどんな内容を取り入れたいの？ どんな効果が期待できるの？ 教材を用意するにはどうしたらいいの？ 学習指導要領との関係は？ などの疑問に答える内容になっています。

■全国の訪問先

(県教育委員会を県、市教育委員会を市と表記しています。)



③金融教育に関する協力依頼

- ・教員研修等における『金融教育プログラム』、教材、コンクール、セミナー等の周知
- ・教員研修企画における金融教育関連内容の組み込み
- ・金融・金銭教育研究校の委嘱等に関する支援

金融教育の  
広がりに向けて

さらに、金融広報中央委員



会は、八月六日(月)に開催する「教員のための金融教育セミナー」の他、都道府県金融広報委員会や教育委員会の開催する教員対象セミナー・研修においても、『金融教育プログラム』の趣旨を紹介して参ります。

今後、各地の教育委員会からの一層の協力の下、全国の学校における金融教育の取り組みがより盛んになることを期待しています。

Q5 金融教育はどんな教科でも取り入れることができるの？

A5 金融教育は、社会科、生活科、家庭科、特別活動、総合的な学習の時間、道徳のほか、国語や数学などでも取り入れることができます。どれか一つの教科で取り上げてほしい、いろいろな教科で互いに関連づけながら取り上げて頂いてもかまいません。

Q6 学習指導要領には金融教育という言葉そのものは見当たりませんが、金融教育は学校で教えなければならぬものなの？

A6 学習指導要領には金融教育という言葉そのものはありませんが、金融教育が目標として内容にはほとんどすべて含まれています。学習指導要領が目指している力を育むには、金融教育を積極的に取り入れることが大変役に立つといわれています。

Q7 『金融教育プログラム』には複数の教科の優れた指導

計画例が載っているの？

A7 『金融教育プログラム』には、小学校、中学校、高等学校の優れた指導計画例がたくさん載っています。授業にすぐに使えるように、単元の目標、指導計画、本時の展開のほか、学習の評価の規準やワークシートの例も掲載されています。様々な体験学習が組み込まれていますので、学校の先生方には是非活用頂きたいと思えます。

Q8 金融教育を取り入れると授業が面白くなるって本当？

A8 そのとおりです。金融教育では、いろいろな体験学習をまじえて、お金の経済、金融について学んで頂きます。このため、子どもたちは、楽しみながら、生きていく上で役立つ力をつけることができます。体験学習としては、次のようなものがあります。

- ・見学
- ・劇(役割演技)
- ・地域の人々との交流
- ・店舗経営
- ・商品開発
- ・ダイアット

- ・栽培・収穫・販売
- ・ゲーム
- ・模擬商談
- ・シミュレーション

Q9 それは保護者の方や家族の人にも役立つの？

A9 そうです。誰でも日々の生活の中でお金を扱っています。意外とお金や金融の知識が乏しいのが実情です。お金を大事にする、金融トラブルや多重債務に気をつける、将来や社会のためにお金を有効に使うなど、大人が知っておくべき内容がたくさん含まれているのです。

Q10 『金融教育プログラム』はどうしたら入手できるの？

A10 金融広報中央委員会のホームページ (<http://www.shiriponto.jp>) に全内容を掲載しているほか、都道府県金融広報委員会や金融広報中央委員会(電話03・3277・2563)に請求して頂ければ所要部数をお送りします(ただし、個人の場合、一人一部とさせていただきます)。





公開授業の買い物シミュレーションの様子。この日はゲストティーチャーのパン屋さんの店長が味やパンの選び方を子どもたちにアドバイス。子どもたちはパン屋さんに積極的に質問していました

いる学校の一つに、東京都中央区立阪本小学校があります。明治六年開校と、長い歴史を有するこの阪本小学校は、中央区教育委員会研究奨励校であるほか、邦楽演奏の分野ではTBS子ども音楽コンクール東京大会において最優秀賞を受賞するなど、多方面で活躍している小学校です。

阪本小学校が、金融教育を活発に実施するようになったのは、平成十七年度に金融教育研究校(注1)に委嘱されたことがきっかけです。以来、総合的な学習の時間での「コレド阪本」(注2)をはじめ、多くの新しい取り組みが実施され、注目を集めています。

そのような金融教育の成果を発表する場として、平成十八年十月十七日に同校で開催されたのが「金融教育公開授業in東京」です。全国各地から四百名を超える教員・教育関係者が訪れた中、一年生から六年生まで、それぞれ身近なテーマを教材とした金融教育の授業が行われました。これらの授業で設定された研究主題は、「公共心の育成」。自分の暮らすまちや国を愛し、「みんなの中で生きていく知恵」を身に付けていく態度の育成

を目指しました。

**地域の身近なパン屋さんを学習素材に**

この中で、二年生が取り組んだのが生活科の授業「大すぎ、まちたんけん『パン屋さんへ行こう』」(全十二時間にわたる単元。公開授業はその中の一時間)。

これは、自分たちが住んでいるまちを探検し、調べる「町探検」を中心とした学習です。買い物体験などを通じて、まちに関心を持ち、地域の人々やさまざまな場所に親しみを持つとともに、友人と協力して取り組むことを学習のねらいとしています。

この十二時間にわたる単元では、運動会の「パン食い競争」のパンも提供している学区内のパン屋さん(以下、「パン屋さん」)を学習の場に設定しました。地域の身近なパン屋さんを学習素材とした教材開発を行うことで、地域についての親しみや愛着が深まり、子どもたちの学習意欲が高められるからです。

また、学習活動の工夫として、単元を通して何のために学習に取り組んでいるのかを明確にするために、テーマとゴール

(注1) 都道府県金融広報委員会の委嘱を受けて、金融教育に取り組む研究校。「金銭教育研究校」とあわせ、現在、全国で約150校(幼稚園、小・中学校、高校)。  
(注2) 総合的な学習の時間に、校内に子どもたちが模擬店舗を開き、保護者や教育関係者の方々に対して手作りの商品などを販売する学習。名称は日本橋の商業施設「コレド日本橋」に因んだ。

## 買い物体験学習等を通じた金融教育

### 東京都中央区立阪本小学校

お金を通じて、生活や社会、将来について考える態度を養成する金融教育。このコーナーでは、学校における金融教育の展開・ノウハウについて紹介します。今回は、金融教育に熱心に取り組む東京都中央区立阪本小学校の授業例を紹介します。



### 今、なぜ金融教育か

金融・経済環境が激変する現在において、子どもたちや若者に必要なのは、現実の社会を生き抜くための確かな力です。お金に関する犯罪やトラブル、ニートと呼ばれる若者の増加などが社会問題化している中、お金や金融のさまざまなはたらきを理解し、自分の暮らしや社会について深く考えることを教える金融教育は、いまや子どもたちにとって不可欠な教育課題になっています。

確かに、学校でお金のことを教えるのはタブーといった意識が現在もなお残っています。しかし、金融教育は、お金儲けを教えるものではありません。お金を通じて自分の生活、社会、将来についてしっかり考える態度を養うことに主眼を置いています。また、お金を手がかりに授業を進めることで、生活や社会にかかわる知識や物事をより具体的に把握し、問題をより身近なもの、自分の問題としてとらえることができます。

### 金融教育を熱心に行う阪本小学校

現在、特に熱心に金融教育を展開して

「公共心育成に授業の活動がどのように関係があるか」

第2学年 「大すき、まちたんけん『パン屋さんへ行こう!』」 ◎関係の深い内容 活動	分析の視点				
	身近な人との接し方	公共の意識とマナー	生活と消費	成長への喜び	基本的な生活習慣や生活技能
①3年生にインタビューする活動	◎				
②実際に買い物に行く店を見学する活動		◎			
③買い物探検に向けて、計画を立てる活動			◎		◎
④運動会のパン食い競争を提供するパン屋さんでの買い物体験		◎	◎		
⑤感謝の気持ちを手紙に書き表す活動	◎			◎	

により、店に関する理解を深め、買い物体験への意欲を高めることができました。また、買い物計画を作成する必要性について把握しました。

その後、見学の様子を家族に話し、家族が「食べたいパン」は何かを聞ききました(課外)。

六時間目が公開授業に当たりました。ここでは、見学を踏まえ、教室でパン購入のシミュレーション学習を行いました。パン屋さんの店長をゲストティーチャーとして迎え、味や材料、パンの選び方について質問しながら、千円という予算の範囲内で家族のために買うパンを考え、計算をして、購入するパンを選びました。

七八時間目には、グループに分かれ、目的や約束を意識して、パン屋さんへ買い物体験に行きました。買い物後には、買い物をしていった時に気付いたことを思い出して、買い物のポイントや感想をまとめました。

その後、実際に買ったパンを家族と食べ、買い物の様子を伝えました(課外)。

九時間目には、家族の感想を発表するとともに、買い物体験を通しての気持ちを、「ほしいパンの選び方」として発表し合

いきました。同時に買い物体験の感想やお店で買い物するときの買い方についてまとめました。

十時間目はこれまでの学習を振り返り、自分が自信を持ったこと、成長したことを発表し合いました。併せて、ほしいパンの選び方を、「買い方ブック」としてまとめ、発表しました。

十一・十二時間目には、お世話になった人に対して、お礼の仕方を考えました。活動の中で、うれしかったこと、感謝の気持ち、勉強になったこと、助けられたことを考えながら、お世話になった人へ感謝の手紙を書き、お礼の気持ちを伝えました。

金融教育で生活体験・社会体験を

現在の子どもたちは生活体験、社会体験等が不足しているとの指摘があります。そのような状況だからこそ、学校、家庭、地域が連携し、実際のお金のやり取りも含めた体験的な学習を含む金融教育を通して、具体的に知識や課題を、自分の暮らしや生き方とかかわらせて考えることは意義があります。今回の阪本小学校の二年生は、一連の取り組みを通じて、そのことを具体的に学ぶことができました。

真剣な表情の子どもたち。ちゃんと、予算の範囲内で、家族にパンを買うことができるかな。



を設定しました。テーマは、家族のほしいパンを予算の範囲で購入できるようにすること。そして、ほしいパンを選べる「買い方ブック」の作成を学習のゴールに設定しました。

さらに、学習を展開するに当たって、家庭やお店の協力を得るために、学習の趣旨等を事前に連絡したほか、パン屋さんには学習への協力をお願いしました。

体験的な学習で多くのことが学べる

すでに紹介したように、同校の研究主題は、公共心の育成です。二年生では、パン屋さんの見学、買い物体験、店員へのインタビューなどを通して、次の五つを重視しました。

- (一)身近な人々との接し方  
地域のさまざまな人々と適切に接する。
- (二)公共の意識とマナー  
みんなで使う物や場所などを正しく利用できる。さらに、他人に迷惑をかけるような、自分の行動を律する。
- (三)生活と消費  
生活に必要な物を買ったり、大切に使用したりすることができる。
- (四)成長への喜び

自分でできるようになったこと、生活で自分の役割が増えたことを喜び、成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持つことができる。

全十二時間の授業内容

それでは、全十二時間にわたる学習全体の概要について、ご紹介します。

一時間目は、朝ごはんパンを食べているクラスの家族の数を調べたり、学習の目的を伝えるなどして、パン屋さんへの興味・関心を高めました。

二時間目は、一年前に買い物体験を実施した二年生にインタビューするなどして、昨年の買い物体験についての意見や資料を集めました。

その後に行ったのは、家族にパン屋さんについてインタビューしたり、資料収集したりすることでした(課外)。

三・四時間目には、実際にパン屋さんを見学し、気付いたことをメモしました。五時間目には、パン屋さん見学の感想等をまとめ、情報を整理しました。これ



# 趣味の散歩道

～生活いきいき～



趣味は、私たちのくらしを楽しく、活気に満ちたものになります。このコーナーでは、毎回、気軽に行える趣味を取り上げます。今回は、老若男女を問わず、親しまれている俳句の魅力について俳人の河内静魚さんに紹介いただきました。

## ◆日々のくらしの中にある感動を表現

美しい風景を見る。ふと小鳥の鳴き声を聞く。そんなとき、思いがけず私たちの心は動かされます。そんな心の情景を、的確に

散らかり放題。飼った猫が遊びまわり、部屋中のものをひっくり返していたのです。しかし、猫好きの友人は特段怒りもせず、部屋をあたたかも、ディスプレイのように思っただけでいたんだなと感じて、次の句を作りました。

部屋じゅうがデズニランドうかれ猫

小塚 なな

とても楽しんで、愛猫をかわいがる作者の優しさが伝わります。俳句とは、肩肘張らずに、生活の中で感じたままをリズムミカルに表現すればいいのです。

## ◆素材は身近なところにある

このように、俳句を生み出す素材も、身近な毎日の生活の中に満ちています。通勤ですれ違う人、電車の窓から見える美しい風景、会社や家庭での悲喜（こもごも）、日常生活で私たちの心を刺激するあらゆるものが、俳句の題材となります。

## 夏の身近な「くらし」にかかわる季語

(立夏・5月6日から立秋の前日・8月7日まで)

入梅・南風・虹・夕立・雷・夕焼け・青田・土用波・衣更・ハンカチ・浴衣・水着・冷麦・ラムネ・心太・水羊羹・鱧・初鯉・トマト・日除・青簾・蚊帳・香水・団扇・風鈴・走馬燈・切子・打ち水・日傘・箱庭・花火・金魚売・帰省・避暑・納涼・海水浴・鬼灯市・時鳥・螢・蟬・蝸牛・向日葵

## 「言いおわせて何かある」

松尾芭蕉の言葉。俳句のような短い形式は、心の中の思いを百パーセント言い尽くしてしまうのではなく、感動の一断面を切り取り余韻を活かすところに特徴があります。感動の核心を切り取って提示することで余韻を活かすのです。

言い表すことができたら、どれほど楽しいでしょう。俳句は、日常生活の中で気になった情景や、感動を表現するのに、最適の形式です。

とはいえ俳句と聞いただけで、とっつきにくさを感じる人も多いと思います。理由の一つは、俳句とは日々のくらしとかけ離れた文芸だとの誤解があるのではないのでしょうか。しかし、俳句はそんなに難しいものではありません。

私の友人に、猫を飼っている人がいます。ある日帰宅して驚きました。部屋中のものが、

ある夏の夕方のことです。家の中でくつろいでいるとき、台所から洗い物の音が聞こえてきました。その音を聞いてみると、亡くなった母が皿洗いをしているような気がなぜかして、ふいに口から出た句が、次の句です。

夕焼や母あるやうな皿の音

河内 静魚

俳句の題材は旅行先での景勝地だけに限りません。家の中の何気ない様子も、立派な素材となります。

俳句を作るに当たっては、確かに最初のうちは、自由な文章や会話では感じることはない戸惑い、苦しみもあると思います。季語を入れて、季節感も表現しなければなりません。私も当初は指折り数えながら、あてもない、こうでもない、頭を悩ませていたものです。しかし、だからこそ、作り上げたときの喜びもひとしおなのです。

## 第1回 — 俳句

# 俳句は、気軽にできる趣味です

俳人 河内 静魚

●かわうち せいぎょ●1950年、宮城県生まれ。新聞記者を経て、現在政府関係法人に勤務。「穂」主宰。「寒雷」同人。朝日俳句新人賞準賞。句集『花鳥』『手毬』など。著書『俳句の楽しさ』『楸邨俳句365日』（共同執筆）『わが心の俳人伝』など。



## ◆句会へ参加しませんが

俳句をさらに楽しむために、私がお勧めしたいのが、句会への参加です。

句会とは、自分たちの作った句を持ち寄り、その句を参加者みんなで鑑賞し合う共同作業の場で、全国各地で行われています。自分が作った句を発表し、仲間の意見に耳を傾ける。逆に、仲間の作品との出会いに感動する。俳句を通じて、人間同士のつながりを深めることができます。

そもそも私が俳句を始めたのも、三十年以上前に職場の句会に参加したのがきっかけです。肩書きも上司部下の関係も越えて、自由な雰囲気です。笑い合いながら、俳句を楽しむ句会に魅力を感じたのでした。

世の中には、物事の上手、下手を言う人がいますが、俳句については、それはあまり意味がありません。自分の生活の中で発見した情景や感動を、季節感を通して、日記のように十七音で表現することに楽しさを感じれば、その人は立派な俳人といえます。

俳句は数ある趣味の中でも、最も気軽にできる趣味です。道具も紙と鉛筆と歳時記さえあれば十分です。お金もかかりません。まずは、始めてみませんか。(談)



# 「私はだまされたい!」と 思っていますか?

## 東京都金融広報委員会

電話 〇三―三三七七―三七七八

振り込め詐欺や悪質商法など、様々な手口で消費者を騙す事件が全国各地で発生しています。東京都も例外ではなく、中高生

から高齢者まで多くの方々被害を受けています。関係者によると、そうした事件についての知識が全くない方のみならず、「知

つてはいたが、自分はだまされないと思っていた」という被害者も少なくないとのこと。そこで、東京都金融広報委員会では、東京都や区の消費生活センターおよび警視庁の協力を得て、被害の予防と対応策に関するチラシを作成、新聞に折り込む形で幅広く配付しました。

チラシでは、代表的な六つの問題事例①振り込め詐欺、②未公開株、③架空投資、④マルチ商法、⑤ネットオークション、⑥多重債務を取り上げ、身近な話を織り込んだQ&A形式に仕立てました。また、何かあった場合にとっさに対応できるよう相談窓口とその電話番号も掲載し、電話の側や台所などに貼っていただけのようなや厚めの紙を用いました。

さらに、上記の内容

を音声でも伝えるため、チラシの解説文を執筆した丹野美絵子金融広報アドバイザーがラジオ番組に出演。チラシと同様のテーマで、司会の生島ヒロシ氏が質問し、それに丹野氏が答える構成となりました。身近な問題として改めて実感したリスナーも多かったのではないのでしょうか。

当委員会では今年度、①合理的な生活設計の推奨、②金融商品の選択に関する基礎知識の提供、③金融トラブルの予防、④学校での金融・金銭教育の普及に向けて、効果的で効果的な広報活動をしていく方針です。その際、今回ご紹介したチラシ、ラジオといったマスメディア広報のほか、講座や講習会への金融広報アドバイザーの派遣といった対面型広報にも引き続き注力していきたいと考えていますので、ご関心がある東京都民の皆さまは、当委員会までお気軽にご相談下さい。

# 一人でも多くの府民の お役に立ちたい

## 大阪府金融広報委員会

電話 〇六―六二〇六―七七四七

特徴その一 市区町村と連携しニーズを踏まえた学習プランを提供

大阪は大都市ですが、よくみると商業地域、工場地域、ベッドタウンなどに分けられ、各地の金融学習ニーズも異なっています。

このため、事務局員が各地の消費生活センター等を丹念に訪問し、金融学習の有用性を説明のうえ、地域のニーズを踏まえた「連

続講座」の共催等を提案していただきます。地域の金融学習ニーズは高まっております。訪問開始後の講師派遣回数は一連続百件を超え、など順調に普及しています。作業の分担は、会場準備と参加者募集を市区町村が、無料講師派遣・資料提供、修了証授与を委員会が行います。

お役立ち情報「市区町村との」連続講座」共催は、互いに費用対効果が望めるほか、中立・公正な立場で正確な金融情報を提供することから、「信頼をいただいています。」

講演テーマ例・インターネットや携帯での金融トラブル、子どもの金融教育、金融商品の選び方や資金運用上の留意点、年金、相続など。

## 特徴その二 金融・金銭教育は教育委員会など周囲の支援が大切

学校では、ゆとり教育を導入しているとは言え、実際には金融教育のためになかなか時間が取れないのが実情です。このため、健全な金銭観や基礎的な金融経済知識を実践・研究していただく研究校との打合せに、各地教育委員会にもご参加いただき、子どもが興味を持つ内容で、学校の特徴を活かした活動計画を早期にまとめるとともに、保護者や教員向けの金融講演会を呼びかけて効果をあげています。

この結果、「お金やものを大切にしようになった」、「以前は荒れた学校だったが、お金や勤労のことを話し合ううちに良くなった」など、嬉しいご報告も…。また、平成十九年度は、教員向けの金融教育研修にも力を入れ、大阪府教育センター等との共催で、中府教育センター等との共催で、学(社)、高校(家・公)教員の研修を計画しています。



## 特徴その三 委員会のPR活動がご好評をいただいています

大阪証券取引所等との共催で、「子どもと学ぶ金融・株式スクール」を春夏秋冬に開催し、マスコミの協力によって多数の応募があります。また、全国紙に委員会名で月一回掲載している「子どもと学ぶマネー講座」は、読者から質問や講師派遣の申込みをいただくようにもなりました。

私達の活動は、地道で派手さはありませんが、マスコミなどの力も借りながら、一人でも多くの府民のお役に立てるよう頑張りたいと思います。





人生の目的を実現するために、「夢は見るもの」「目標は達成するもの」と言われます。夢実現のための実行・援助活動を通して、生きる力と心を育てていきます。



## 生きる力と【あ】【た】【ま】

北海道 金融広報アドバイザー  
横江 光良

産者・お店屋さん・消費者の段階を踏まえての体験は、遊びの世界を通して現実を知り、子どもたちに金銭への興味・関心を高めることになりました。

事例二 中学生に「人生の先輩の話」をしたところ、多くの質問がでて、人生について真剣に考えてくれました。①「人生とは？」↓学ぶこと、夢を持ち続けること、そしてけつしてあきらめないこと ②「良い人生とは？」↓前進してゆく力で、大きな理想に挑んだ人生 ③「生きていくうえで大切なことは？」↓なんととしてもやりきるおおいなる勇氣と、誠実な生き方

事例三 池上学院高校「実践社会学」を平成十六年度より継続中。悪質商法についての生徒レポートから：知識があればだまされそうになったとき「おかしい」と気付くことができる。だまされた場合でも、取るべき手段を学ぶことができました。

事例四 清田区シニアスクール生は、小学校内の教室で児童との世代間交流をしながら、生き生きと社会科（金融経済）も学んでいます。

私たちも一緒に、「あかるく」「たのしく」「まえむきに」取組み「一人に希望と勇氣を与えられる人」になられる様応援しています。

## 金融広報アドバイザー紹介

### 心に残るお話を

福井県 金融広報アドバイザー  
谷山 満



金融広報アドバイザーの委嘱を受けて二年、かつて校長だった私は小学校四十五校、中学校八校において総計四千一百名の児童、生徒達にお金に関する話をしてきました。色々な反応がありますが、伝えたいことが感想文に書かれているのを目にすると、心

からやりがいを感じます。例えば、敦賀市の中央小学校一年生は、「わたしは一円ぐらいいなくてもいいと思ってたけど、先生のお話を聞いて、一円でも十円でも大切だとわかりました」と書いてくれました。また、お手伝いしてもらった十円の大切さを教えた福井市の杜南小学校六年生から「父の苦勞や母の支えの上に家族が成り立っていることを実感しました」という感想文をもらったときには、期待していた以上のことを学んでくれたことに感激しました。ところで、子供はお金の話を淡々と説明しても聞いてくれません。ですから、パワーポイントを使いながら自分自身の体験談やことわざに含まれた先人の知恵などについて、できるだけ心に残る話を盛り込むよう意識しています。長年の教員の経験から、心に残る話を通じて学んだことは、一生涯忘れないものだと思っています。

## 「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催し、ネットワークの連携強化を図っています

### ◆「金融に関する消費者教育フォーラム」とは

金融広報中央委員会では、去る平成十四年から毎年一回、金融広報中央委員会と同じように、金融に関する消費者教育に携わっている機関・団体等をお招きして、活動事例の紹介や問題意識の共有、今後の連携に関する自由な意見交換を行い、これを通じてネットワークの連携強化を図ることを目的としたフォーラムを開催しています。

お招きする先は、当委員会と委員団体のほか、当委員会と活動の狙いを共有するNPO（特定非営利活動法人）、金融に関する消費者教育に造詣の深い学識経験者の方などです。また、金融庁、内閣府、文部科学省の同僚育関係部署からも、オブザーバー参加を頂いています。

### ◆今年のフォーラムでは・・・

六年目にあたる今年は、四月

### 第6回「金融に関する消費者教育フォーラム」ご出席者一覧 (50音順、敬称略)

- (機関・団体)
- ・金融知力普及協会
  - ・証券学習協会
  - ・消費者教育支援センター
  - ・信託協会
  - ・生命保険協会
  - ・生命保険文化センター
  - ・全国銀行協会
  - ・全国消費生活相談員協会
  - ・全国労働金庫協会
  - ・第二地方銀行協会
  - ・東京証券取引所
  - ・東京都消費生活総合センター
  - ・投資信託協会
  - ・日本クレジット産業協会
  - ・日本証券アナリスト協会
  - ・日本証券業協会 証券教育広報センター
  - ・日本消費者協会
  - ・日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
  - ・日本青年団協議会
  - ・日本損害保険協会
  - ・不動産証券化協会
  - ・預金保険機構

- (学識経験者など)
- ・生活経済ジャーナリスト 高橋 伸子
  - ・前文化女子大学 非常勤講師 櫻井 純子
  - ・弁護士 桜井 健夫

- (官庁)
- ・金融庁総務企画局
  - ・内閣府国民生活局
  - ・文部科学省生涯学習政策局
  - ・文部科学省初等中等教育局

二十七日に、日本銀行本店内において第六回「金融に関する消費者教育フォーラム」を開催し、合計二十九先の機関・団体等のご出席を頂きました。

フォーラムでは、まず金融広報中央委員会から、十九年度の活動方針や、「基本を多くの人に伝える」という活動コンセプトをご説明し、具体的な連携事業の提案等を行いました。そして、参加機関・団体からは、最近の活発な活動状況や問題意識、今後の主な活動予定等を熱心にご紹介頂きました。

◆ご参加者の声は・・・

ご参加頂いた関係者からは、「六年間の開催を経て、このフォーラムでお会いするメンバーとの間での問題意識の共有や、円滑な連携が、かなり軌道に乗ってきたように思う」とのご感想や、「金融商品の複雑化が進み、多重債務者の問題も深刻化してきているので、この分野の消費者教育ニーズはますます高まっている。その意味でも、官民を合わせた連携の強化が一層重要になっており、フォーラム開催の意義は大きい」との声が聞かれました。





「貯蓄」。それは、金融広報中央委員会が発足する前からの運動でした…

積み木で遊ぶ子どもの姿が描かれたこのポスターは、昭和25年度に掲示されたものです。少年は「ち」「よ」「ち」「く」の文字を積み上げ、少女はその先を見つめているかのようです。昭和25年度は、金融広報中央委員会の前進である貯蓄増強中央委員会が発足する2年前にあたり、大蔵省と日本銀行からのメッセージとなっています。

戦後、昭和21年にはインフレ収束を目的に、大蔵省、日本銀行、各都道府県の支援協力のもと、政府主導の貯蓄運動が推進されていました。ポスターにある「経済自立促進特別貯蓄運動」はその意思を継ぎ、昭和25年の9月から10月にかけて実施されたものです。

21世紀の今に生きる私たちの暮らしは、この少年が積み上げ、少女が見つめた先にあるのかもしれない。

「創刊によせて」

金融広報中央委員会会長 豊田 武久



金融広報中央委員会(愛称「知るぽると」)では、このたび広報誌『くらし塾 きんゆう塾』を四半期ごとに発行することになりました。

のではないのでしょうか。

『くらし塾 きんゆう塾』においては、「知るぽると」の考え方や活動内容をご紹介しつつ、「きんゆう」を通じてよりよいくらしや生き方を一緒に考える場を提供できればと考えています。最近では「くらし」や「きんゆう」に関する情報が洪水のように溢れていますが、その中で本誌は皆様方が思わず手に取って読んでみたくなるような、キラリと光る存在になりたいと願っています。

読者の皆様からのご意見やお知恵を頂戴しながら、今後誌面の充実を図っていきたくと考えていますので、どうかよろしくお願ひします。

皆様の声をお寄せください

『くらし塾 きんゆう塾』では、より良い誌面づくりを目指し、皆様からのお便りをお待ちしています。また、次号以降、皆様の声をご紹介するコーナーをもうけたいと考えています。

どうぞ、次の事項をご記入のうえ、下記宛先まで皆様のお声をお送りください。平成19年8月末までにご意見を下さった方の中から、抽選で10名の方に、「知るぽると特製日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。

また、いただいた声を本誌に掲載することとなった方には、知るぽると特製図書カードをプレゼントいたします。

◆ 記入していただきたいこと

1. 今号で面白かった記事
2. 今号で「もう一工夫欲しい」と思った記事
3. 今後取り上げて欲しいテーマ
4. 一言ご感想

5. ご住所・お名前・電話番号
  6. 皆様の声をご紹介するコーナーへの掲載希望の有無／掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合は、ペンネーム
- \* いただいた個人情報は、プレゼント発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ使用させていただきます。

- ◆ 宛先
  - ・ 郵送 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1 日本銀行情報サービス局内 金融広報中央委員会 「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
  - ・ メール info@saveinfo.or.jp メールタイトル:「くらし塾 きんゆう塾」について
  - ・ FAX 03-3510-1373 金融広報中央委員会 「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で知るぽるとホームページ上に掲載していますので御利用ください。(http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/index.html)

くらし塾 きんゆう塾 創刊号

平成19年7月発行  
編集・発行 金融広報中央委員会  
編集協力・印刷 廣済堂  
© 金融広報中央委員会 禁無断転載

【編集後記】 タイトル、表紙、取り上げるテーマ、レイアウト…一つ一つについて、「知るぽるとの広報誌に相応しいものか?」「皆様にメッセージがわかりやすく伝わるか?」などと考えながら、手探りで「広報誌創刊号」をつくりました。皆様のご感想はいかがでしょう?



◎都道府県金融広報委員会一覧◎

委員会名	〒	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011-241-5314
青森県金融広報委員会	030-8570	青森市長島1-1-1	017-734-9209
岩手県金融広報委員会	020-0021	盛岡市中央通1-2-3 岩手銀行本店内	019-624-3622
宮城県金融広報委員会	980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2523
秋田県金融広報委員会	010-0921	秋田市大町2-3-35	018-824-7814
山形県金融広報委員会	990-8570	山形市松波2-8-1	023-630-3101
福島県金融広報委員会	960-8614	福島市本町6-24	024-521-6355
茨城県金融広報委員会	310-8639	水戸市南町2-5-5 常陽銀行本店別館内	029-224-2734
栃木県金融広報委員会	320-8501	宇都宮市埴田1-1-20	028-623-2151
群馬県金融広報委員会	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-2273
埼玉県金融広報委員会	333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1街区2F	048-261-0995
千葉県金融広報委員会	260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043-225-7141
東京都金融広報委員会	103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1 日本銀行情報サービス局内	03-3277-3788
神奈川県金融広報委員会	231-8588	横浜市中区日本大通1	045-210-3874
山梨県金融広報委員会	400-0032	甲府市中央1-11-31	055-227-2419
長野県金融広報委員会	380-0936	長野市岡田178-8 八十二銀行本店内	026-227-1296
新潟県金融広報委員会	951-8622	新潟市中央区寄居町344	025-223-8414
富山県金融広報委員会	930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076-424-4471
石川県金融広報委員会	920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076-223-9519
福井県金融広報委員会	910-8532	福井市順化1-1-1 福井銀行本店内	0776-22-4495
岐阜県金融広報委員会	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1	058-213-9257
静岡県金融広報委員会	420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054-273-4112
愛知県金融広報委員会	460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-954-6166
三重県金融広報委員会	514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059-246-9002
滋賀県金融広報委員会	520-8577	大津市京町4-1-1	077-528-3412
京都府金融広報委員会	604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町535	075-212-5151
大阪府金融広報委員会	530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06-6206-7748
兵庫県金融広報委員会	650-0034	神戸市中央区京町81	078-334-1129
奈良県金融広報委員会	630-8501	奈良市登大路町30	0742-27-8704
和歌山県金融広報委員会	640-8585	和歌山市小松原通1-1	073-441-2342
鳥取県金融広報委員会	680-8570	鳥取市東町1-271	0857-26-7160
島根県金融広報委員会	690-8553	松江市母衣町55-3	0852-32-1509
岡山県金融広報委員会	700-8707	岡山市丸の内1-6-1	086-227-5128
広島県金融広報委員会	730-0011	広島市中区基町8-17	082-227-4268
山口県金融広報委員会	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2608
徳島県金融広報委員会	770-8570	徳島市万代町1-1	088-621-2258
香川県金融広報委員会	760-0023	高松市寿町2-1-6	087-825-1104
愛媛県金融広報委員会	790-0003	松山市三番町4-10-2	089-933-6308
高知県金融広報委員会	780-8677	高知市本町3-3-43	088-822-0114
福岡県金融広報委員会	810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092-725-5518
佐賀県金融広報委員会	840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952-25-7059
長崎県金融広報委員会	850-8645	長崎市炉粕町32	095-820-6112
熊本県金融広報委員会	862-8570	熊本市水前寺6-18-1	096-333-2291
大分県金融広報委員会	870-0023	大分市長浜町2-13-20	097-533-9116
宮崎県金融広報委員会	880-0805	宮崎市橘通東4-3-5 宮崎銀行本店内	0985-23-6241
鹿児島県金融広報委員会	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-2544
沖縄県金融広報委員会	900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098-866-2187